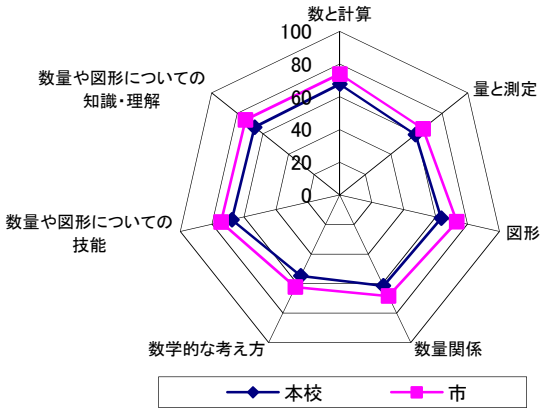
宇都宮市立新田小学校 第５学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	67.7	73.9
	量と測定	59.1	65.0
	図形	63.5	73.2
	数量関係	61.5	68.5
観点別	数学的な考え方	54.8	62.4
	数量や図形についての技能	67.6	74.4
	数量や図形についての知識・理解	66.5	73.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の平均正答率と比べ，約6%下回った。小数のかけ算は市の平均をやや上回ったが，その他の問題については下回った。特に，帯分数から真分数を引く計算や整数÷小数の計算，偶数と奇数の類別，数直線の読み取り，小数による計算で解く問題文については，8～14%下回った。	・数直線や図を使い，分数についての理解を深め，分数の計算の仕方について復習できるような授業を展開する。小数のわり算においても，小数点の位の取り方についてよく理解を深めた上で，繰り返し練習問題に取り組むようにさせ習熟を図る。また，偶数と奇数について，類別の仕方をよく復習した上で練習問題に取り組ませる。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率と比べ，約6%下回った。立方体の体積の求め方については，市の平均を8%上回ったが，その他の問題は下回った。特に，平均や単位あたりの量を求める計算や，それらを使って解く問題については，8～15%下回った。	・平均や単位量あたりの大きさの求め方について，図や数直線を使って理解が深められるようにし，繰り返し練習問題に取り組ませて習熟を図る。文章問題については，「何人分」などのポイントとなる言葉を意識しながら立式できるようにする。
図形	・宇都宮市の平均正答率と比べ，約10%下回った。四角形の内角の和についての問題は，市の平均をやや上回ったが，その他の問題については下回った。特に，垂直な辺を求める問題や，四角形の定義や特徴を問う問題，三角形の内角の和を使って外角を求める問題については，8～18%下回った。	・具体物や図を使い，三角形や四角形の辺や角の決まりについてよく復習をする。図形の決まりを使って求める問題では，必要な情報を図に書き入れながら考えさせるようにし，繰り返し練習問題に取り組ませて習熟を図る。立方体や直方体については，具体物を使って展開図の中での辺や面の位置関係を把握できるようにする。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率と比べ，7%下回った。計算の決まりを使った小数の計算については5%，伴って変わる二つの数量を式に表す問題については，9%下回った。	・図を使って，伴って変わる二つの量について把握できるようにし，片方が変わるともう片方がどう変わるのかを見取るような問題に繰り返し取り組ませ習熟を図る。また，計算の決まりについてよく復習し，小数の混じった計算の練習問題に取り組ませる。